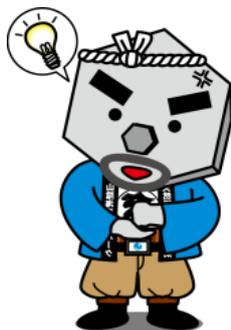


かていがくしゅう てび じどうよう 家庭学習の手引き【児童用】

竹野小学校



なぜ 家庭学習が大切なのでしょう？

⇒理由その① **自ら学ぶ習慣を身につけるため**

⇒理由その② **学校で学習したことを定着させるため**

☆5つの「必ずやる」・「続ける」

① 先生から出された宿題（高学年は、各教科から出される場合もあります）

② 読書週間（毎月18日～24日）と家読（毎月23日）での読書

③ 学年ごとに決められた時間の家庭学習

（この学習時間は、学校からの宿題だけでなく、読書、自主学習、塾の課題などに取り組んだ時間を、すべて合わせます。）

1・2年生…30分以上 3・4年生…45分以上 5・6年生…1時間以上

④ 机やテーブルの上には、学習用具だけを置いて学習する。

（ゲームやマンガ本、おやつなどを置かない）

⑤ 学習が終わったら鉛筆をけずり、明日の準備をする。

☆2つの「やってみよう」

① 毎日、読書をしよう！（たくさん本を読んでいる子どもは学力が高い）

② 自主学習にチャレンジしよう！

（自主学習とは…「何を」「どのように」学ぶかを自分で決め、それを続ける学習です。変化の激しい時代に求められている「自ら学ぶ力」を身につけることができる、とても大切な学習です。）

じしゅがくしゅう てび 自主学習の手引き

～「させられる学習」から「する学習」へ～

◆たとえば、こんな学習にチャレンジしてみよう !!

- ① 今日の授業で学習したところをもう一度家庭学習のノートに書きうつす。
- ② 教科書の学習した問題をもう一度解いてみる。
- ③ はっきりとした声で音読の練習をする。(読むめあてを持って)
- ④ 一日のふり返しとして、したことや思ったことを日記に書く。
- ⑤ 漢字ドリルなどを使って、筆順や、とめるところ、はねるところ、はらうところに気をつけながら漢字の練習をする。
- ⑥ 計算ドリルなどを使って、計算問題や文章問題などをする。
- ⑦ わからない言葉を辞書で調べて、意味を書く。使い方も書いておく。
- ⑧ テストやプリントで間違ったところをもう一度やり直す。
- ⑨ 好きなこと・興味のあることを図鑑やインターネットで調べ、まとめる。(例：虫の飼い方、植物の名前、今ニュースになっていること、歴史上の登場人物、昔の道具について、竹野のお店について…)

※パソコンやタブレットは、時間を決めて使いましょう。

◆好きなこと・興味のあることが見つからないという人も、学んだり調べたりしているうちに見つかることがよくあります。あきらめず、続けてみましょう!